



げし
夏至（21日）… 一年間で昼間が一番長い日です …

気温や湿度が上がり、梅雨も本番となりました。ジャガイモも梅雨入りとともに葉が枯れてきて、収穫し頃となりました。それまで、葉っぱの下を住処にしていたカエルくんには、事情を伝えて、新しい隠れ家を探してもらいました。おいしそうなジャガイモが大中小合わせて340個も取れました。ミニトマトやオクラ、枝豆なども大きくなり始めています。

<菖蒲華 あやめはなさく 6月26日~30日>

夏至の次候は「菖蒲華」です。わくわく池は、いろいろな生き物のオアシスとなっています。時々ご紹介しているギンヤンマのヤゴの抜け殻は、この春からすでに7~8個は発見しています。羽化する様子をぜひ子どもたちに見せたいと思っています。かつて、担任時代に学級で飼っていたヤゴが、飼育ケースで羽化する様子を一度だけ子どもたちと見る事ができました。羽化したばかりの羽がオーロラのように輝いていて、息を飲む美しさなのです。わくわく池で発見したヤゴの抜け殻は多くはギンヤンマのもので、飛んでいる様子をよく見掛けるのはシオカラトンボです。アジアイトトンボという細くてきれいな青いトンボも何度か見掛けています。



わくわく池にはいろいろな水性植物が生えていて、その茎がトンボの羽化の大事な舞台となっています。このギンヤンマのヤゴは、5月に黄色い花を咲かせていたキシヨウブの花が枯れたところに捕まってトンボに変身(羽化)したようです。

<わくわく池はトンボたちの楽園！>



このシオカラトンボのオスは、子どもたちがわくわく池に行くと、縄張りを主張するかのようによく飛んで来るのです。発見したシオカラトンボのヤゴの抜け殻はこれ1つだけです。ギンヤンマのヤゴと比べると小さめの3cm程度です。



これはギンヤンマのヤゴの抜け殻ですが、飛んでいるギンヤンマの勇姿をまだ確認できていないのが残念です。見掛けた方は、ぜひお知らせください。超高速で方向転換できる、鮮やかな黄緑と水色のとてもきれいな大きなトンボです。



シオカラトンボのオスとメスが連結して飛んでいますのがわかりますか？メスが池に産卵する貴重な姿も子どもたちと見る事ができました。



大人はトンボが葉っぱなどの先に止まることを知っているのですが、特に幼稚園の先生たちは、トンボを見付けるとほぼ間違いなく、この動きをします。(笑)